



2007年北里大学医学部を卒業。平塚市民病院外科、慶應義塾大学病院一般・消化器外科などで研鑽を積み、2015年厚木胃腸科医院の2代目院長に就任。大学病院レベルの精度の高い内視鏡検査と消化器がんの早期発見で地域医療に大きく貢献。日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医、日本外科学会外科専門医。

## 当院の感染症対策



内視鏡検査室。患者が不安にならないよう感染予防にも配慮

患者がマスクを装着できない胃内視鏡検査や、糞便などによる感染リスクが懸念される大腸内視鏡検査を行う際は、特に綿密な感染症対策が求められる。同院では、院内換気や内視鏡の洗浄と消毒、検査・治療後の手指の洗浄を徹底。さらに、医師はもとより、補助する看護師や助手も含め、検査時には医療用マスクやフェイスシールド、キャップなどの防護具を装着。検査にあたる全員に防護服着用を義務づけている。「患者さんが感染症を恐れて検査を控えるようなことがあると、病気の発見が遅れてしまうリスクもあります。当院ではきちんと感染症対策をしていますので、安心して検査を受けに来てください」

### DATA



Tel 046-223-1155  
Add 厚木市妻田南1-16-36  
Parking 有  
Close 火/日/祝

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	●	—	●	●	●	●	—	—
15:00~17:00	○	—	○	●	●	△	—	—

※○15:00~19:00  
※△第2・4土曜のみ診療

Map P000 X-0 Link P000, 000



このQRコードを  
スマホで読み取って

## 胃がん・大腸がんの早期発見をめざし 苦痛の少ない内視鏡検査の普及に尽力

閑静な住宅地に立つ「厚木胃腸科医院」は、先代院長時代から長きにわたり地域に愛されてきたクリニックだ。2代目院長を務める寒河江三太郎先生は平塚市民病院や慶應義塾大学病院など、先端の医療現場で幅広い診療に携わって

きた消化器内視鏡のエキスパート。患者に身近な医院でも、大病院レベルの内視鏡検査が受けられるよう尽力している。「勤務医時代」もう少し早くがんを見つけれたら……と何度も思いました。がんの部位別の死亡者

「狭帯域光観察という技術も搭載されており、早期がんに顕著な異常血管を捉えやすいのが特徴です。実際、導入から数週間で早期がんを発見できました」  
こうした精度の高い内視鏡検査を、より多くの患者が受けられるようにと、週に2回消化器内視鏡の専門家を招くなど、検査体制を整えているそうだ。  
先進の技術にこだわるだけでなく

く、父である初代院長・寒河江朋男先生が、開院以来約50年守り続けてきた「地域のかかりつけ医」としての思いも大切にしたいと考える寒河江先生。予約制や自動精算機の導入で待ち時間を短縮するほか、遠隔診療も開始するなど患者目線での配慮に余念がない。また、早くから感染症対策に注力している同院では、入口でサーモグラフィカメラによる検温を行

うほか、院内全体に空気の流れができるよう換気対策をしている。発熱や感染が疑われる患者には、一般の外来とは診察時間を分け、仮設診察室で対応する。「究極の目標は、この地域で胃がんや大腸がんによって亡くなる人をゼロにすること。定期的に内視鏡検査を受ける重要性を多くの方に知っていただき、気軽に受診できる医院でありたいですね」



1 明るく広々とした印象の診察室。水槽があり、患者の緊張をほぐす 2 入り口では検温を実施。マスクの有無も識別して注意が促される 3 超音波検査は専門のスタッフが担当している

数では、胃がん・大腸がんは男女ともに上位ですが、今は早期発見により完治をめざせる病気であることを知ってほしいですね」  
進行がんが見つかった患者の多くが「痛い思いをして内視鏡検査を受けたくなかった」と言うのを聞き、苦痛を抑えた検査を普及させる大切さを痛感したと話す寒河江先生。同院の院長就任後は、胃と腸の痛みに配慮した、苦痛の少ない内視鏡検査を徹底。患部に炭酸ガスを入れるなど、検査後の膨満感にも配慮している。  
「痛みの小ささに驚かれると思いますよ。過去の検査は耐えられなかったものの、この手法であれば受けられたという方もいます」  
さらに、希望者には静脈麻酔を投与して検査を行うことも可能。同院の検査を経験した患者の多くが、翌年以降も検査を受け続けている。  
約50年にわたり地域に貢献  
感染症対策と先進の技術で  
さらに満足度の高い医療を追求  
より精度の高い検査のために、同院では微細な病変を捉えられるHD（高精細度）画像を用いた内視鏡システムを導入。発見が難しい初期のスキルス胃がんが見つかった事例もあると院長。



待合室から診察室、検査室まで、院内の所々にサーキュレーターや空気清浄機が備わっている同院。「患者さんに安心して受診してほしい」という先生の誠意が伝わってきました。また、院内の水槽は「患者さんがリラックスできるように」と願う先生のアイデアから置いたものなのだろうか。診療中、わかりやすい言葉で丁寧に話す先生の姿も印象的でした。